



令和5年2月15日

国土交通省関東地方整備局

利根川ダム統合管理事務所

独立行政法人水資源機構

沼田総合管理所

東京電力リニューアブルパワー株式会社

カーボンニュートラルに向けて奥利根豪雪地帯で融雪水を有効活用

～既存ダムにおける再生可能エネルギーの活用に向けた試行運用～

奥利根の積雪・融雪を活用したダム試行運用により貴重な水資源を有効活用してカーボンニュートラル達成に向けて取り組んでまいります。2022年度春は試験的に実施しCO2排出量2,260トン削減（増電電力量5GWh）し実績を確認しております。

2020年10月に我が国として「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言し、2050年カーボンニュートラルを目指す取組が加速しています。これを受け、水循環政策における既存ダムの再生可能エネルギー導入促進を図ることとします。

その取組として、矢木沢ダムで積雪の融雪水を有効活用した水力発電増電の取組を実施するため、利根川ダム統合管理事務所・沼田総合管理所・東京電力リニューアブルパワー株式会社で覚書を締結し、試行運用を実施します。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ・テレビ記者会
水資源記者クラブ 沼田記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所

電話：027-251-2021（代表） メール：ktr-tonegawadam@mlit.go.jp

副所長（技術） 黒岩 久一（内線：204）

広域水管理課 課長 齊藤 光悦（内線：341）

独立行政法人水資源機構 沼田総合管理所

電話：0278-24-5711（代表） FAX：0278-22-7565

管理課 課長 曾我 力（内線：2331）

東京電力リニューアブルパワー株式会社

電話：03-6373-1111（代表）

業務統括室広報グループ

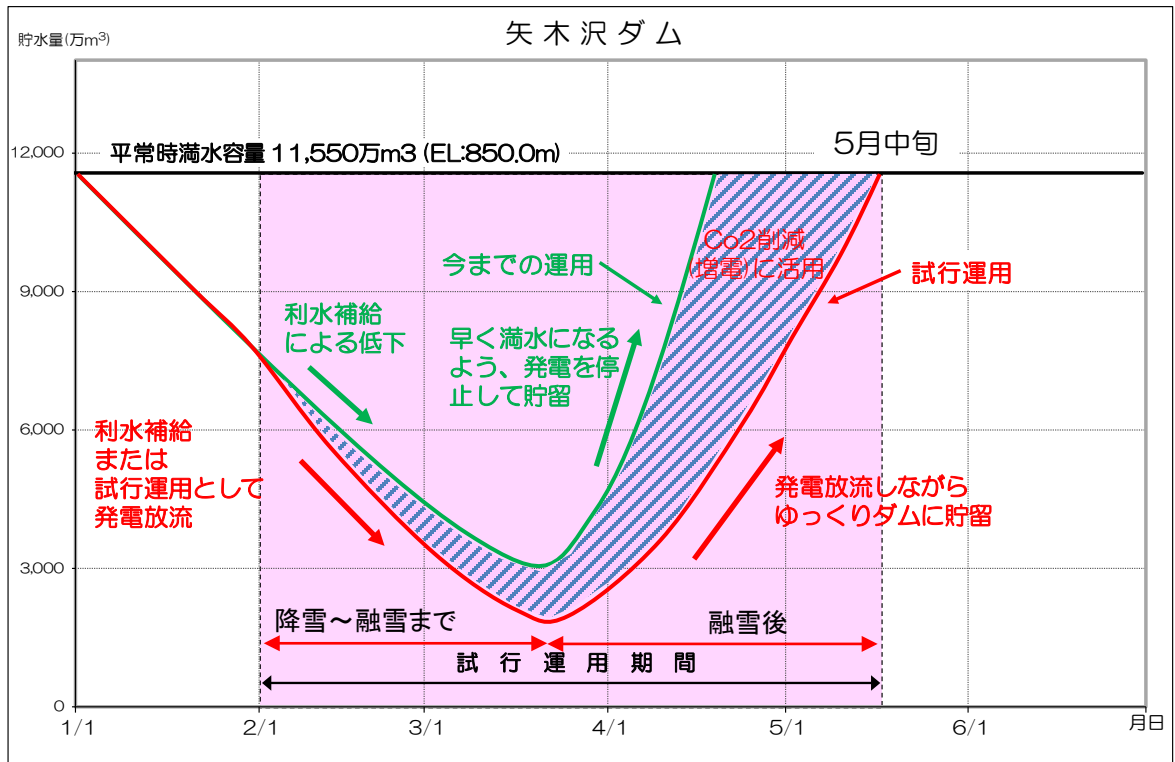
矢木沢ダム試行運用イメージ

利根川上流ダム群の中で積雪が多い矢木沢ダムの融雪水(※)を活用し、矢木沢ダムと下流にある須田貝ダムの発電所で試行運用を実施します。

試行運用は、積雪の状況を確認しながら発電放流を行い、利水補給が本格化する5月中旬までに満水に向けてゆっくり貯留していきます。

なお、本年の積雪状況とダム貯留状況により運用が変更になる場合もあります。

※融雪水とは、積雪が溶けて雪解け水となってダムへ流入する水



位置図

